

# 大型水生甲殻類

大分県には淡水(たんすい)・汽水(きすい)にすむ約140種類のカニ・エビ・ヤドカリ(十脚目(じっしやくもく))が確認されています。大分市内にもたくさんの十脚目が確認されています。次にあげるのは希少な生物もありますが、よく目につく生きものです。

# 陸・淡水・汽水産貝類

大分県内で陸地や淡水・汽水にすむ貝は約300種近くいます。その中で大分市内にも約150種が生息しているといわれています。ごく一部ですが、下記にあげています。それぞれに似た貝がたくさんいますが、いずれも大切な生き物です。

絶滅 EX

野生絶滅 EW

絶滅危惧ⅠA類 CR

絶滅危惧ⅠB類 EN

絶滅危惧Ⅱ類 VU

準絶滅危惧 NT

情報不足 DD

絶滅のおそれのある地域個体群 LP

**1 サワガニ** [生息場所] 沢・川  
よくみられる時期: 6月~9月  
甲幅: 25mm



日本にだけ生息し、一生を淡水域ですごします。繁殖(はんしよく)期は夏で、メスはふ化した稚(ち)ガニを1ヶ月近く抱えています。

**2 シオマネキ** [生息場所] 砂浜・磯  
よくみられる時期: 6月~9月  
甲幅: 35mm



オスの片方のハサミが大きく潮(しお)をまねいているようにそれをふる(ウェーピング)という、シオマネキと名前がつけました。巢(ね)あなをほり、泥中(でいぢゅう)の有機物(ゆうきぶつ)を食べます。

**3 ハクセンシオマネキ** [生息場所] 磯・砂浜  
よくみられる時期: 6月~9月  
甲幅: 16mm



河口(こうぐち)付近の泥まじりの砂浜(すな)や礫(れき)海岸(かいがん)に住んでいます。オスのウェーピングが白い鬚(す)をふっておどるように見えます。水(みづ)から少しはなれたところに巢(ね)あなをつくりまします。

**1 ヒザラガイ** [生息場所] 磯  
繁殖期: 7月~9月  
殻高: 50mm



潮間帯(しやうかんたい)の岩(いわ)の表面(めいめん)にあるくぼみや岩(いわ)のすき間(ま)にはりついて生活(せいかつ)しています。だ円形(たえんぎょう)で背面(はいめん)に8枚(はちまい)の殻(から)がありその殻(から)のまわり(まわり)に丸(まる)短い殻(から)があります。

**2 マツバカイ** [生息場所] 磯  
繁殖期: 5月~7月  
殻高: 50mm



放射(ほうしや)状(じょう)にある赤(あか)か茶(ち)色の線(せん)がマツ葉(まつば)のようにみえます。天敵(てんてき)はイボニシなどの肉食性(じゅうじきょう)巻貝(まきがい)やヒラムシ類(れい)、ヒトデ類(れい)です。長命(じやうめい)な貝(かい)で20年(ねん)くらい生きまします。

**3 アマガイ** [生息場所] 磯  
繁殖期: 5月~8月  
殻高: 10~20mm



海岸(かいがん)の潮間帯(しやうかんたい)上部(じやうぶ)の岩礫(がんれき)地(ち)、コンクリート人工物(じんこうぶつ)などに見られ、卵囊(らんのう)からは幼貝(ようがい)が出てきます。寿命(じゆめい)は3年(ねん)くらいです。

**4 アリアケモドキ** [生息場所] 川・汽水域  
よくみられる時期: 6月~9月  
甲幅: 10mm



こうらが横(よこ)に長い六角形(じゅうごうけい)で、おなか(なか)はオス(お)が濃(こ)い朱赤(しゆあか)色(いろ)、メス(め)は淡(あわ)い朱(しゆ)色(いろ)をしています。水中(みづ)の泥(どろ)や石(いし)の下(した)に生息(せいじき)しています。が、泥(どろ)にうもれていて見つけにくいです。

**5 モクズガニ** [生息場所] 川・汽水域  
晩夏(ばんげ)から秋(あき)に川(がわ)の淡水域(たんすい)に出現(しゆげん)



ハサミに濃(こ)い毛(け)が生(は)えています。主に肉(にく)食(じき)ですが、枯葉(かれは)も食(た)べています。一部(いぶ)越冬(えいとう)しますが、多く(おほく)は秋(あき)から冬(ふゆ)に繁殖(はんじき)のために海(うみ)へ下(くだ)ります。

**6 アカテガニ** [生息場所] 磯・川  
繁殖期: 夏  
甲幅: 30mm



オス(お)のハサミ(はさみ)は名前(なまえ)通り赤(あか)で、指(ゆび)は黄白(わうはく)色(いろ)をしています。巣穴(すけ)を自分(じぶん)でほ(ほ)ることもありますが、他(ほか)がほ(ほ)った巣穴(すけ)あなや石(いし)のすきま(すきま)を利用して休(やす)むことが多(おほ)いです。

**4 イシマキガイ** [生息場所] 磯・川  
繁殖期: 4月~8月  
殻高: 20mm



殻(から)の頂上(ていじやう)部(ぶ)が河川水(かえんすい)にとけてポロポロ(ぽろぽろ)になります。直径(ていけい)1~2mm(めい)の卵塊(らんかい)をうみつけまします。岩石(がんせき)についた小(こ)さい藻類(そうるい)を食(た)べまします。

**5 ミヤコドリ** [生息場所] 磯・川  
繁殖期: 5月~8月  
殻高: 10~20mm



元(もと)はオレンジ色(おれんじいろ)ですが、硫化鉄(りゅうかてつ)がつかって黒(くろ)くなっている個体(こたい)も多(おほ)いです。軟体(なんたい)部(ぶ)は赤(あか)色(いろ)で、殻(から)のふち(ふち)に多(おほ)数の突起(とつぎ)を出(で)まします。

**6 フトヘナリ(生:シマヘナリ)** [生息場所] 川・汽水域  
繁殖期: 6月~9月  
殻高: 30~35mm



殻(から)には等間隔(とうかんかく)に縦筋(じゆうろく)がならび、殻口(からぐち)の前縁(ぜんえん)は伸(の)び、外唇(がいしん)は肥厚(ひこう)します。殻(から)の表面(めいめん)は茶(ち)か茶(ち)色(いろ)の帯(おび)によって彩色(さいしき)されています。

**7 クロベンケイガニ** [生息場所] 磯・川  
繁殖期: 夏  
甲幅: 30mm



河口(こうぐち)に生息(せいじき)し、活動時(かどうじ)以外は岩場(いわば)のすきまや泥(どろ)にほ(ほ)ったあな(あな)などにひそ(ひそ)まします。木(き)や石(いし)の下(した)、芦原(あしはら)の根元(ねもと)などで活動(かどう)します。産卵(さんらん)は大潮(おほしほ)の夜(よ)に行(い)います。

**8 ベンケイガニ** [生息場所] 磯・川  
繁殖期: 夏  
甲幅: 35mm



ハサミ(はさみ)はあざやかな(あざやかな)だいだい色(いろ)ですが、指(ゆび)部分は黄白(わうはく)色(いろ)です。屋間(やま)は巢(ね)あなや物(もの)かけ(かけ)にひそ(ひそ)み、夜(よ)によく活動(かどう)します。雑食性(ざっじきじやう)です。

**9 ハマガニ** [生息場所] 砂浜・川  
繁殖期: 夏  
甲幅: 50mm



干潟(ひがた)や塩沼(しおぬま)に深(ふか)さ10~50cm(めい)ほどの巢(ね)あなをほ(ほ)って屋間(やま)はひそ(ひそ)み、夜(よ)は活発(かっぺつ)に活動(かどう)します。ヨシ葉(よし)や小(こ)さいカニ(か)を食(た)べまします。

**7 オカミミガイ** [生息場所] 川・汽水域  
繁殖期: 5月~7月の大潮  
殻高: 40mm、殻径: 25mm



海岸性(かいがんせい)の貝(かい)ですが、水中(みづ)に入(い)ることはほとんどあ(あ)りません。アシ原(あしはら)にいます(います)が、活動期(かどうき)はアシ原(あしはら)からは出(で)てきまします。

**8 マルタニシ** [生息場所] 田んぼ・川  
繁殖期: 5月~7月  
殻高: 60mm



平野部(ひらのべ)の水田(みづうら)や用水路(ようすじ)に多(おほ)く生息(せいじき)します。用水路(ようすじ)のコンクリート化(こんくりーとくわ)により生息環境(せいじきけいじやう)が悪化(あくわ)し、絶滅(ぜつめつ)の恐れ(おそ)れがあります。

**9 タケノコカワニナ** [生息場所] 川・汽水域  
繁殖期: 4月~7月  
殻長: 60mm、殻径: 23mm



カワニナ(かわに)に似(に)ていますが、より大型(たいてい)で細長(ほそなが)く直線形(ちくせんぎょう)の形(かたち)をしていること(こと)で区別(くべつ)がつきまします。カワニナ(かわに)は卵胎生(らんたいせい)で稚貝(ちがい)をうみまします(うみまします)が、この貝(かい)は卵生(らんせい)で卵(たまご)をうみまします。

**10 アシハラガニ** [生息場所] 砂浜・川  
繁殖期: 夏  
甲幅: 50mm



干潟(ひがた)や塩沼(しおぬま)に直径(ていけい)3cm(めい)ほどの巢(ね)あなをほ(ほ)ってひそ(ひそ)んでいます。夜(よ)は活発(かっぺつ)に活動(かどう)します。雑食性(ざっじきじやう)です。メス(め)は卵(たまご)を食(た)べ、有機物(ゆうきぶつ)を分解(ぶんかい)してくれまします。

**11 ユビナガホンヤドカリ** [生息場所] 磯・汽水域  
よくみられる時期: 6月~9月  
甲長: 15mm



右(みぎ)のハサミ(はさみ)が大きく、表面(めいめん)に小(こ)さなつづ(つづ)ぶが密(みつ)にありまします。危険(きけん)を感じ(かん)ると貝殻(かいか)が(か)い(か)らにすばやく引(ひ)っこみまします。メス(め)は卵(たまご)をかか(か)えたま(たま)冬海(ふゆのうみ)の中(なか)に入(い)ります。

**12 ミナミテナガエビ** [生息場所] 川  
繁殖期: 5月~9月  
体長: 100mm



第二胸脚(だいにしゆくぎやく)が長(なが)くび(び)ており、頭胸甲(かぶ)の3本(さんぽん)の斜線(しゃせん)がありまします。屋間(やま)は石(いし)の下(した)や水草(すいそう)のしげみ(しげみ)にひそ(ひそ)み、夜(よ)に活動(かどう)します。一度(いちど)に卵(たまご)を2000(にせん)個産卵(こたんらん)します。

**10 モノアラガイ(生:ヒモアラガイ)** [生息場所] 田んぼ・池  
繁殖期: 6月ごろ  
殻高: 20mm



石(いし)についた藻類(そうるい)などを食(た)べた後(あと)がきれい(きれい)にみえ、物洗貝(ものせんがい)と名(な)がついてまします。雌雄(しゆう)同体(どうたい)で他(ほか)の個体(こたい)と交尾(かうび)し、卵(たまご)を水草(すいそう)や石(いし)などにうみつけまします。

**11 ヤマトシジミ** [生息場所] 川・汽水域  
繁殖期: 主に6月~9月  
殻長: 5mm(1年)、18mm(4年)



ヤマトシジミ(やまとしじみ)はうすい塩分(しんぶん)のある水域(すいせき)を好(この)みます。入水管(いりすいかん)から水(みづ)を吸(す)いこみ、ただよ(ただよ)っている植物(しょくぶつ)プランクトン(ぷらんくんとん)などを食(た)べてまします。

**12 キセルガイ類** [生息場所] 林・草原・山  
繁殖期: 主に6月~9月  
殻長: 2~3mm



殻(から)はキセル(きせる)に似(に)て細長(ほそなが)く、巻貝(まき)として珍(めづ)らしく大部分(たいていぶん)が左巻(ひだりまき)です。カタツムリ(かたつむり)の仲間(なかま)で、日本(にっぽん)に約(やく)200(にひゃく)種類(しゆるい)もいます。

大型水生甲殻類  
陸・淡水・汽水産貝類